



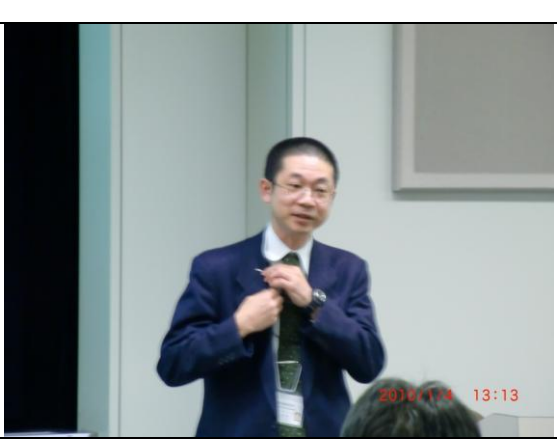

平成 21 年度 北海道特別支援教育ICT活用PJ
第4回北海道の特別支援教育における情報教育研修会報告書

I 事業の概要

1	趣 旨	北海道の特別支援教育における情報教育についての情報交換や、講演、実技研修により指導の質を高める。
2	主 催	北海道特別支援教育 I C T 活用 P J
3	共 催	特定非営利活動法人 インターネット・ラーニングアカデミー 特定非営利活動法人 N E X T D A Y
4	後 援	北海道教育委員会 札幌市教育委員会 北海道特別支援教育学会
5	会 場	道民活動センタービル (かでの 2・7) 1040 会議室 北海道札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 011-204-5100
6	日 時	平成 22 年 1 月 4 日 (月) 10:00~17:00
7	参加人数	参加人数: 35 名

II 事業の実施

1 参加状況			
		小学校	5名
		中学校	0名
		高等学校	1名
		大学	1名
		特別支援学校	18名
		その他	10名
		参加合計	35名
		報道関係	1名
		講師	4名
		スタッフ	7名
		総計	47名
		(欠席者)	1名

2 活動の概要	
「特別支援教育に生かす Windows7 ～アクセシビリティ機能から～」	
①講師	NPO 法人札幌チャレンジド パソコン講師 前田 和範 氏
②内容	Windows7 のアクセシビリティ機能を、実例をふまえながら説明いただいた。
	
「画面をさわって楽しみながら動画編集 ロイロエデュケーション ～Windows7 マルチタッチ・ソフトウェア ロイロの活用～」	
①講師	株式会社 LoiLo 取締役 杉山 竜太郎 氏
②内容	マルチタッチで直感的に操作ができる動画編集ソフト「ロイロエデュケーション」を実演しながら説明いただいた。
	
講演「新教育の情報化の手引きから」	
①講師	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 教育研修情報部 総括研究員 金森 克浩 氏
②内容	新教育の情報化の手引きについて具体的な実践等を交えて紹介いただいた。
	
ワークショップ「自分で描いた絵を動かしてプログラミング」 ～ビスケット活用ワークショップ～	
①講師	N T T コミュニケーション科学基礎研究所 メディア情報研究部 主任研究員 原田 康德 氏
②内容	フリーソフト「ビスケット」を活用して、簡単に描いた絵が動く仕組みを演習を通して説明いただいた。
	

Ⅲ アンケート結果

回答数 35名

	よかった		改善が必要
1. 時期について	27	77%	7
2. 会場について	27	77%	8
3. 申し込み手順について	34	97%	0
4. 日程について	32	91%	3
5-1. 午前の内容について	29	83%	5
5-2. 午後の内容について	32	91%	3
6. 使用機材について	31	89%	3
7. 配付資料について	27	77%	7

Ⅳ 全体のまとめ

今年度情報教育において大きく変化があったと考えられる、新「教育の情報化に関する手引き」の公示や、Windows7の登場に焦点を当て、講演や、実演、ワークショップなどを企画しました。

今年度初めに公示された「新教育の情報化の手引き」についての講演を通して、特別支援教育における情報教育についての示唆を得ることができました。

実演等では、Windows7のアクセシビリティ機能や、マルチタッチ機能などの最新の情報を、開発者や障がいを持ち実際に活用している講師より学ぶ機会とすることができました。

ワークショップでは、タブレットパソコンを用いて、画面上に描いた絵が動くフリーソフトを実際に操作し、プログラミングの考え方や、お絵かきソフトとして、子どもたちにどのように活用できるかを考えながら、研修することができました。

このような、活用、開発等、実際に関わっている方々から、生の声を聞き、体感することができ、今後の北海道の特別支援教育における情報教育に還元する機会となったと考えます。